

事例 2



混声合唱の魅力

第3学年 表現（歌唱）

♪本題材で扱う学習指導要領の内容

第3学年 A 表現(1)歌唱

ア 歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫すること。

イ(ア) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わり

ウ(イ) 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能

〔共通事項〕(1)ア 旋律，テクスチャ，強弱

♪教材

「ふるさと」（作詞 高野辰之／作曲 岡野貞一／編曲 黒部美樹）

「YELL」（作詞・作曲 水野良樹／編曲 鷹羽弘晃）

👉 [学習指導案](#)

👉 [ワークシート作成例](#)

1 題材の目標と評価規準

(1) 題材の目標

- 「ふるさと」、「YELL」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かし、「ふるさと」、「YELL」を全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付ける。
- 「ふるさと」、「YELL」の旋律，テクスチャ，強弱を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考え，「ふるさと」、「YELL」にふさわしい歌唱表現を創意工夫する。
- 「ふるさと」、「YELL」の混声三部合唱の全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う活動に関心を持ち，音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組むとともに，混声合唱に親しむ。

(2) 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
知 「ふるさと」、「YELL」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。	思 「ふるさと」、「YELL」の旋律，テクスチャ，強弱を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考え，「ふるさと」、「YELL」にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	態 「ふるさと」、「YELL」の混声三部合唱の全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う活動に関心を持ち，音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
技 創意工夫を生かした表現で「ふるさと」、「YELL」を全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け，歌唱で表している。		

事前アンケートでの「音楽の学習の中で、どの分野が得意ですか」という質問では、「歌唱」と回答した生徒は全体の約30%でした。また、「これまでの音楽の学習の表現領域（歌唱）の中で、どのようなことができるようになりましたか」という質問では、「発声（声の出し方）」と回答した生徒が約60%でした。「身体の使い方（姿勢や呼吸の仕方）」、「全体の響きや各声部の声を聴きながら合わせて歌うこと」などと回答した生徒が少なかったことから、歌唱に必要な知識及び技能を習得するための学習活動を工夫し、表したい歌唱表現で歌うことができるようにすると同時に、混声合唱の魅力に迫ることを目指した授業づくりを行いました。



2 題材の指導と評価の計画（全8時間）

…次頁で具体を示します。

時	◆学習のねらい ○学習内容 ・学習活動	評価			評価方法
		知・技	思	態	
1 ・ 2	<p>◆「ふるさと」、「YELL」の旋律、テクスチャ、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、「ふるさと」、「YELL」を聴取し、曲想と音楽の構造や歌詞の内容に関心をもつ。</p> <p>○「ふるさと」、「YELL」の曲の概要をつかみ、題材全体及び学習の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ふるさと」、「YELL」を聴いたり、主旋律を歌ったりして曲の構成を知り、学習の進め方について確認する。 <p>○「ふるさと」、「YELL」の旋律、テクスチャ、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ふるさと」、「YELL」のCDを聴き、音楽の特徴（旋律、テクスチャ、強弱に着目して知覚したことと感受したこと）をワークシート（以下、WS）に書く。 ・「ふるさと」、「YELL」の似ている部分を比較聴取し、共通している部分やそのよさについて考え、WSに書く。 ・「ふるさと」、「YELL」の主旋律を受けもっているパートを確認しながら、全員で主旋律を歌う。 <p>○「ふるさと」、「YELL」の歌詞の内容に関心をもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌詞の内容を考えながら、主旋律を歌う。 ・「ふるさと」、「YELL」の各パートの旋律のリズムを手拍子で表したり、階名唱で歌ったりする。 ・パートに分かれて、自分が担当するパートを正しい音程とリズムで歌う。 				
	<p>◆「ふるさと」、「YELL」の旋律、テクスチャ、強弱などの特徴を捉え、曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、混声三部合唱で歌う。</p> <p>○「ふるさと」、「YELL」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ふるさと」、「YELL」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについてグループ及び学級全体で意見交流し、WSに書く。 ・「ふるさと」、「YELL」の自分のパートを正しい音程とリズムで歌う。 ・「ふるさと」、「YELL」を混声三部合唱で歌う。 	知			観察 ワークシート

5 ・ 6	<p>◆「ふるさと」、「YELL」の混声三部合唱における全体の響きと各声部の声などの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。</p> <p>○「ふるさと」、「YELL」の混声三部合唱における全体の響きと各声部の声などの関わりについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・混声三部合唱において全体の響きと各声部の声などの関わりについて、これまでの WS の記述の内容を振り返ったり、楽譜を手掛かりにしたりして考え、WS に書く。 ・WS の記述の内容を基にパートやグループで意見交流し、更に広げた考えについて自分の WS に書き加える。 <p>○これまでに学習した内容を生かしながら、どのように自分のパートを歌うかについて思いや意図をもち、「ふるさと」、「YELL」にふさわしい歌唱表現を追求する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ふるさと」、「YELL」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりや混声三部合唱における全体の響きと各声部の声などの関わりを生かしながら、どのように歌うかについて思いや意図を WS に書く。その際、これまでの WS の記述の内容を参考にしたり、楽譜を手掛かりにしたりする。 ・各パートや学級全体の意見を踏まえ、学級全体で歌唱表現の工夫を共有し、実際に歌って試す。 ・次時の学習に生かすために、「ふるさと」、「YELL」を混声三部合唱で歌い、録音又は録画する。 			↓ 思	観察 ワークシート
7 ・ 8	<p>◆本題材の学習を振り返りながら学習活動に取り組み、創意工夫を生かして「ふるさと」、「YELL」を混声三部合唱で歌う。</p> <p>○「ふるさと」、「YELL」をどのように歌うかについての思いや意図を再確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでに学習した内容を振り返り、取り組んできた歌唱表現の工夫を各パートで確認しながら歌う。その際、「ふるさと」、「YELL」にふさわしい歌唱表現となるように各パートや学級全体で各声部の役割や声量のバランスなどについて試す。 ・「ふるさと」、「YELL」を混声三部合唱で歌い、録音又は録画する。 ・録音又は録画した合唱を聴き、歌唱表現の工夫を見直す。 <p>○「ふるさと」、「YELL」の曲想や歌詞の内容を味わうとともに、混声三部合唱における全体の響きと各声部の声などの関わりを理解して、創意工夫を生かして混声三部合唱で歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ふるさと」、「YELL」をどのように歌うかについての思いや意図と全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能との関係を意識し、混声三部合唱で歌う。 	↓ 技		↓ 態 (第8時)	演奏（歌唱） 観察 ワークシート

本題材における評価は、〔記録に残す評価〕を行う評価の場面を示しています。〔指導に生かす評価〕の場面は、随時存在しますので、毎時間の学習のねらいに即した生徒の学習状況を把握し、必要な指導を適宜行います。



3 本題材における指導の工夫のポイント

ここでは、本題材における「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の視点を基に、指導の工夫のポイントについて紹介します。

♪ 【題材をデザインする際に】

教材選択の工夫

中学校音楽科における学びの集大成として取り組む混声合唱を扱う題材となりますので、どのような教材を選択するかということがポイントとなります。

☞「授業づくりQ&A」Q3, Q6

本題材では、題材終了後に学習文化発表会での発表を位置付けているため、教材として、学年と学級で歌うための混声三部合唱を2曲選択しました。学年合唱として選択した「ふるさと」は、曲想と音楽の構造や歌詞の内容の関わりについて理解しやすく、ユニゾン、3声のハーモニー、オブリガート等の旋律の重なり方を学び、味わいながら、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能の習得に適していると考えました。また、強弱や速度の変化に関する音楽記号も効果的に用いられており、曲想と歌詞の内容を関わらせながら、作詞者や作曲者の思いや意図を解釈し、生徒が表したいイメージや歌唱表現をもつことができると考えました。生徒の実態や学習状況を踏まえた教材を吟味し、選択の工夫を行うことは、生徒の「主体的・対話的で深い学び」の実現につながる授業改善の1つとして重要であることを実感しました。

♪ 【第1時】

生徒が主体的に歌唱の学習活動に取り組むための工夫

音楽の授業を行うに当たって、学習の見通しについて伝える場面は幾つかあります。題材における第1時、毎時の導入では、題材又は本時の学習のねらいについて伝え、学習の見通しをもつことができるようにすることがポイントとなります。生徒が主体的に学習活動に取り組むための工夫として、教師が作成した学習計画表を示したり、題材を見通すことができるワークシートを作成したりすることが挙げられます。

☞「授業づくりQ&A」Q8

そこで、第1時では、教師が題材全体及び学習の見通しについて示したあとに、生徒自身が学習の進め方について考え、確認する場を設定しました。具体的には、題材終了後に位置付けている学習文化発表会を見据えて、「ふるさと」、「YELL」を混声三部合唱で歌うためには、どのような学習が必要か、そのためにはどのような技能を習得する必要があるのかなどについて考え、確認することです。そのためには、各教材曲の音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、各教材曲の音楽全体がどのように成り立っているかという音楽の構造について知る必要があります。音楽の構造を知る手立てとして、各教材曲を聴いたり歌ったり、楽譜を手掛かりにしたりすることに加え、各教材曲の音楽の構造が可視化できるようにワークシートの工夫を行いました（資料1）。このような工夫を行うことにより、生徒が混声三部合唱に関心を持ち、主体的に歌唱の学習活動に取り組むための導入を行うことができました。

資料1 ワークシートの一部

♪【第3時】

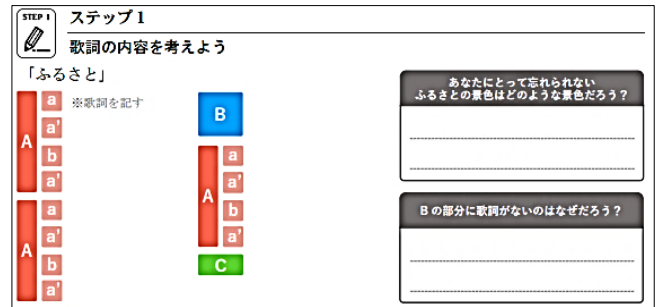
曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するための工夫

中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 音楽編 p.39 では、曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解することについて、「（略）〔共通事項〕と関わらせた指導によって、生徒が曲想を感じ取り、感じ取った理由を、音楽の構造や歌詞の内容の視点から自分自身で捉えていく過程が必要である。」と示されています。そのためは、曲想は音楽の構造によって生み出されることを踏まえ、教材曲における音楽の構造がどのようになっているかということと関わらせながら、歌詞の内容との関連について考えることができるようにすることがポイントとなります。 ⇨「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 音楽編」ハ

そこで、第3時では、「ふるさと」を中心に、曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解することができるように、2つの工夫を行いました。

まず、1つ目は、音楽の構造と歌詞の内容との関わりを可視化したワークシートの工夫（資料2）です。このようなワークシートの工夫を行ったことにより、音楽の構造と歌詞の内容との関わりについて、一体的に理解する学習へつなげることができました。

2つ目は、楽譜を手掛かりにした音楽の理解を促すために、学級全体での意見交流の際に、教師と生徒の言葉のやり取りに終了してしまわないような工夫を行ったことです。「ふるさと」のBの部分では、楽譜を手掛かりに、生徒の気付きから旋律に着目して、以下のようなやり取りを行いました。



資料2 ワークシートの一部

- 👤（教師）：「ふるさと」のBの部分に歌詞がないのはなぜでしょうか。
- 👤（生徒）：広い景色を表すためだと思います。
- 👤（生徒）：懐かしいふるさとを表すためだと思います。
- 👤：では、「ふるさと」のBの部分の楽譜を見てください。
- 👤：Bの部分は、Aの部分に比べて旋律の動きに変化があります。
- 👤：なるほど。旋律の動きはどのように変化していますか。
- 👤：フレーズの真ん中が高くなるような山型の旋律になっています。
- 👤：確かに。Bの部分の演奏を聴いて確認してみましょう。（Bの部分の演奏を聴く。）
ほかに楽譜を見て気付いたことはありますか。
- 👤：もう一度Bの部分の演奏を聴かせてください。（再度、Bの部分の演奏を聴く。）
- 👤：Bの部分の最後は、ソプラノの旋律がだんだんと上がって終わっています。
- 👤：よく気が付きましたね。その部分の演奏を聴いて確認してみましょう。（Bの最後の部分の演奏を聴く。）
では、旋律が上がっていくと、どのような演奏の効果があるでしょうか。・・・

このようなやり取りを通して、生徒が曲想を感じ取り、感じ取った理由を、楽譜を手掛かりに考える学習活動につなげることができました。その際、楽譜を手掛かりに確認するだけでなく、その部分の演奏を聴き、実感を伴って理解することができるように留意しました。また、音楽の構造と歌詞の内容との関わりを理解するための学習活動に、歌詞がある部分だけでなく、あえて歌詞がないオブリガートのようなBの部分も取り上げたことによって、「ふるさと」のBの部分における演奏の効果についても考えることができました。さらに、その演奏の効果を高めるために、「Ah」や「La」に必要な発声、言葉の発音、身体の使い方の技能を身に付けようとする態度につなげることができました。

♪【第7時】

創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な技能を身に付けるための工夫

創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な技能は、自分の思いや意図などに応じて、自分でコントロール（制御したり調節したり）することができる技能のことです。このような技能を身に付けるためには、創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な技能を、生徒が目的をもって、必要感のあるものとして身に付けることができるようにすることがポイントとなります。

📄「中学校音楽科における『技能』」へ

そこで、第7時では、「ふるさと」を中心に、創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な技能を身に付けるための言葉の発音や身体の使い方などに着目できるように、2つの工夫を行いました。

まず、1つ目は、グループでの学習活動の設定です。特に「ふるさと」のBの部分にふさわしい歌唱表現にするために、ワークシートの記述の内容や楽譜を手掛かりにして、どのように歌うかということをグループで考えることができるようにしました。その際、各声部の役割やバランスなども確認することができるように、各パートで構成したグループとなるようにしました。グループでの学習活動では、1人1台端末を活用して録音又は録画したり、教師のアドバイスを参考にしたりして、「ふるさと」のBの部分にふさわしい歌唱表現に必要な技能を身に付けようとしている様子を見ることができました（資料3）。また、グループで考えた歌唱表現を発表する場を設定し（資料4）、「ふるさと」のBの部分にふさわしい歌唱表現について共有することができるようにしました。その際、創意工夫を生かした歌唱表現をするためには、表したい思いや意図によって様々な工夫が考えられることに気付くことができるように留意しました。



資料3 グループでの学習活動の様子

2つ目は、ワークシートの工夫です。「ふるさと」のBの部分にふさわしい歌唱表現にするために必要な技能を身に付けるための言葉の発音や身体の使い方などについて可視化できるように視点を示し、その達成度について生徒自身で評価できるようにしました（資料5）。視点を明確に示すことで、グループでの学習活動では、視点に基づいて試行錯誤したり、アドバイスしたりするなど、生徒が目的をもって、必要感のあるものとして技能を身に付けようとしている様子を見ることができました。一方で、ワークシートの記述では、生徒は身に付けたい技能が何であるかという視点を明確にもつことができても、その技能を身に付けることが容易ではないことがうかがえました（資料6）。このことから、生徒が創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な技能を身に付けることができるように意識しながら授業づくりを行う必要性を改めて感じました。



資料4 グループの発表の様子

STEP 3 ステップ3
歌い方を試してみよう

<p>歌唱のキホン</p> <p>目線</p> <p><input type="checkbox"/> 上・下・まっすぐ？</p> <p>呼吸の仕方（息のスピード）</p> <p><input type="checkbox"/> 速い・遅い？</p> <p><input type="checkbox"/> 一定・さまざま？</p> <p>呼吸の仕方（息の量）</p> <p><input type="checkbox"/> 多い・少ない？</p> <p><input type="checkbox"/> プレスするときの力は？</p>	<p>歌唱のキホン</p> <p>身体の使い方</p> <p><input type="checkbox"/> 口の中の高さは？</p> <p><input type="checkbox"/> 喉の高さは？</p> <p><input type="checkbox"/> 肩の高さは？</p> <p>言葉の発音</p> <p><input type="checkbox"/> 母音の発音は？</p> <p><input type="checkbox"/> 子音の発音は？</p>	<p>1. 気をつけたい視点</p> <p>達成度 >20 >> 40 >> 60 >> 80 >> 100</p> <p>2. 気をつけたい視点</p> <p>達成度 >20 >> 40 >> 60 >> 80 >> 100</p> <p>3. 気をつけたい視点</p> <p>達成度 >20 >> 40 >> 60 >> 80 >> 100</p>	<p>録音を聴いて、達成度をめりつぶそう</p>
--	---	---	--------------------------

資料5 ワークシートの一部

<p>1. 気をつけたい視点</p> <p>姿勢</p> <p>達成度 >20 >> 40 >> 60 >> 80 >> 100</p>	録音達成めり
<p>2. 気をつけたい視点</p> <p>目線 まっすぐ</p> <p>達成度 >20 >> 40 >> 60 >> 80 >> 100</p>	録音達成めり
<p>3. 気をつけたい視点</p> <p>呼吸の仕方 量多い</p> <p>達成度 >20 >> 40 >> 60 >> 80 >> 100</p>	録音達成めり
<p>4. 気をつけたい視点</p> <p>目線</p> <p>達成度 >20 >> 40 >> 60 >> 80 >> 100</p>	録音達成めり
<p>5. 気をつけたい視点</p> <p>呼吸の仕方</p> <p>達成度 >20 >> 40 >> 60 >> 80 >> 100</p>	録音達成めり
<p>6. 気をつけたい視点</p> <p>喉のたが</p> <p>達成度 >20 >> 40 >> 60 >> 80 >> 100</p>	録音達成めり

資料6 生徒の記述